

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

令和02年01月28日

計画の名称	鹿児島市における安全・安心、快適な暮らしの実現（防災・安全）														
計画の期間	令和02年度 ～ 令和06年度（5年間）												重点配分対象の該当		
交付対象	鹿児島市														
計画の目標	下水道施設の適切な整備更新を行うことで、住民に良好かつ継続的なサービスを提供するなど安全・安心、快適な暮らしを実現する。														
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）		743	A	743	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%

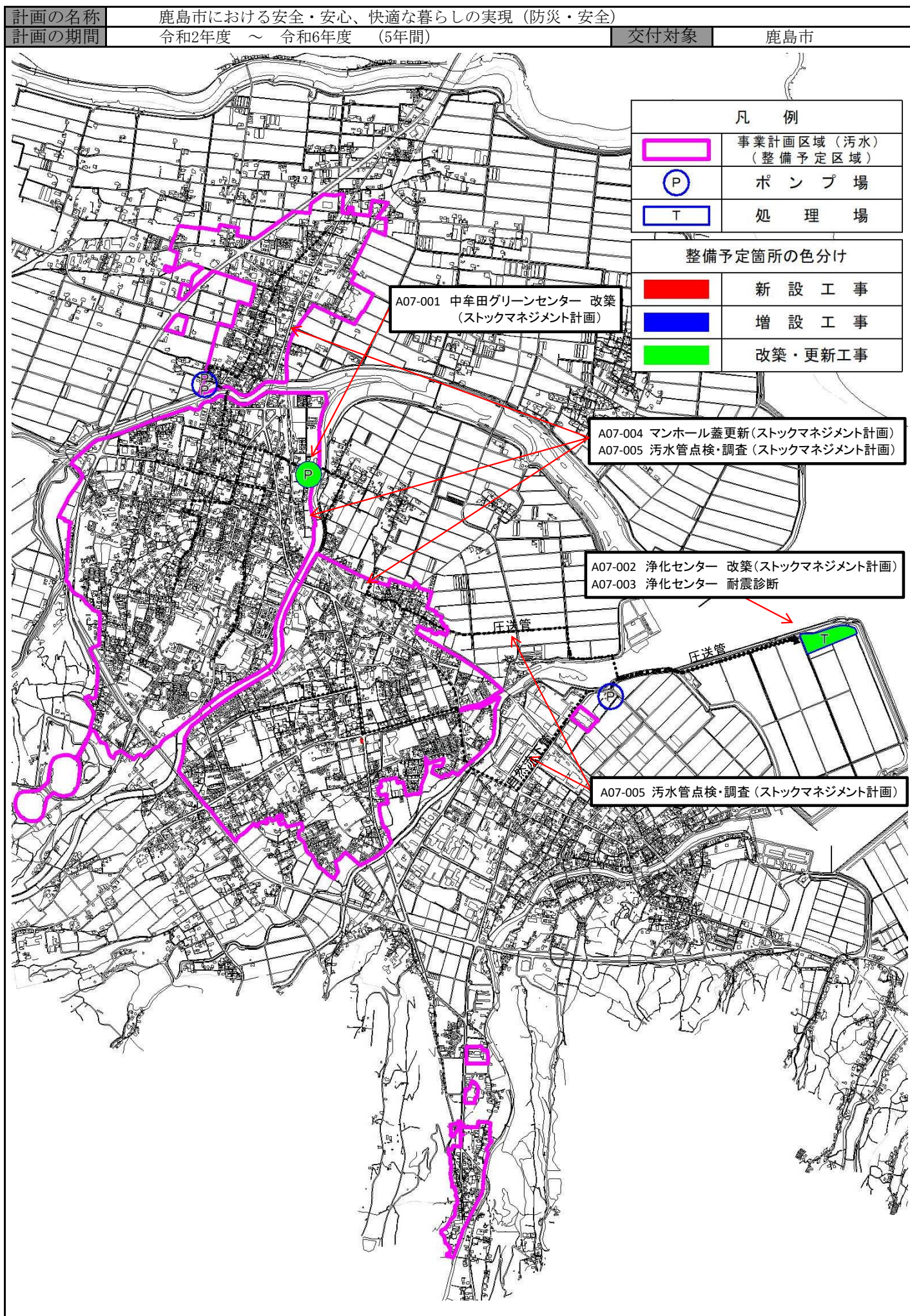
番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1末	R4末	R6末
1	ストックマネジメント計画（H29～R3）に基づく処理場・ポンプ場施設の更新及び長寿命化対策実施率を21%（R1末）から100%（R6末）に増加させる。			
	処理場・ポンプ場施設の更新及び長寿命化対策実施率	21%	54%	100%
	更新及び長寿命化対策完了済みの機器（機器）／更新及び長寿命化対策を実施すべき機器（機器）			
2	処理場の耐震診断実施率を0%（R1末）から100%（R6末）に増加させる。			
	処理場の耐震診断実施率	0%	100%	100%
	耐震診断済の処理場（施設）／耐震診断を実施すべき処理場（施設）			
3	污水管路点検率を22%（R1末）から85%（R6末）に増加させる。（污水管路総延長はR1末ベース）			
	污水管路点検率	22%	60%	85%
	污水管路点検済の延長（km）／污水管路総延長（km）			

備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	ポンプ 場	改築	中牟田グリーンセンター 改築（ストックマネジ メント計画）	機械・電気設備	鹿島市	■					200		策定済
		ストマネ																	
	A07-002	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	終末処 理場	改築	浄化センター 改築（ス tockマネジメント計画 ）	土木、建築、機械・電気設備	鹿島市		■	■	■		432		策定済
		ストマネ																	
	A07-003	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	終末処 理場	改築	浄化センター 耐震診断	耐震診断	鹿島市	■					48		－
	A07-004	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 汚水）	改築	マンホール蓋更新（スト ックマネジメント計画）	マンホール蓋更新	鹿島市	■					23		策定済
		ストマネ																	
	A07-005	下水道	一般	鹿島市	直接	鹿島市	管渠（ 汚水）	改築	汚水管点検・調査（スト ックマネジメント計画）	汚水管路点検・調査	鹿島市	■	■	■	■	■	40		策定済
		ストマネ																	
										小計						743			

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
											合計						743		

(参考図面) 社会資本総合整備計画



事前評価チェックシート

計画の名称： 鹿島市における安全・安心、快適な暮らしの実現（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 計画の目標が事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題を踏まえて整備計画の目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業内容は、計画の目標を達成する上で適切なものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 基幹事業と効果促進事業の一体性が確保されている。	
II. 計画の効果・効率性 十分な事業効果が確認されている。	○
III. 計画の実現可能性 整備計画の具体性など、事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性 計画内容について住民等との間で合意が形成されている。	○
III. 計画の実現可能性 継続的な下水道整備の展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 事業実施のための環境整備が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 下水道普及率の向上を図るための機運がある。	○